

科目名		老年看護学概論			
教育内容	専門分野 老年看護学	履修年次	1年次	履修時期	9月～12月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	老年看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	老年期にある対象の特徴を捉え、老年看護の概念と目的・役割を理解する。				
学習目標	老年期の意味や加齢による身体的、心理的、社会的変化を理解し、高齢会社の現状、高齢者のライフスタイルやニーズを知り、老年看護の概念と目標、役割を理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	ガイダンス 第1章 老いるということ、老いを生きるということ 1. 老いを学ぶ入口 2. 老いるということ			講義  グループワーク
	2	1章 老いるということ、老いを生きるということ 3. 老いを生きるということ ①老年期とは ②高齢者の発達課題 ③老いを生きる人々へのまなざし			講義
	3	第2章 超高齢社会と社会保障 1. 超高齢社会の統計的輪郭 ①わが国の高齢化 ②高齢者のいる世帯 ③高齢者の健康状態 ④高齢者の暮らし			講義
	4	地域で健康に暮らしている高齢者 ①高齢者の健康観・人生観 ②高齢者の普段の生活行動 ③高齢者のポジティブな側面			老人福祉センター で 体験学習
	5	第2章 超高齢社会と社会保障 ・ 2. 高齢社会における保健医療福祉の動向			講義
	6	①高齢者にかかわる保健医療福祉システムの構築 ・保健医療福祉制度の変遷 ・介護保険制度の整備 ・高齢者医療のしくみ ③高齢者を支える多職種職種と看護活動の多様化			
	7	3. 高齢社会の権利擁護 ・ ①高齢者に対するスティグマと差別			
	8	②高齢者虐待 ③身体の拘束 ④権利擁護のための制度 ・成年後見人制度 ・日常生活自立支援事業 * 高齢者疑似体験オリエンテーション			講義  グループワーク
	9	高齢者疑似体験 ・加齢に伴う身体的変化を実際に体験し理解する。 * 詳細については、事前にオリエンテーションを行う。			演習  グループワーク
10	第3章 老年看護のなりたち			講義	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法
		①老年看護学教育の発展 ②老年看護の役割 ③老年看護における理論・概念の活用 ④老年看護に携わる者の責務	
授業計画	11	第4章 高齢者のヘルスアセスメント	講義
	12	・ 1. ヘルスアセスメントの基本 2. 身体の高齢変化とアセスメント ①皮膚とその付属器 ②視聴覚とそのほかの感覚 ③循環系 ④呼吸器系 ⑤消化器系 ⑥ホルモンの分泌 ⑦泌尿生殖器 ⑧運動系	
	13	第6章 健康逸脱から回復を促す看護	講義
	14	・ 1. 症候のアセスメントと看護 ①発熱 ②痛み ③掻痒(かゆみ) ④脱水 ⑤嘔吐 ⑥浮腫 ⑦倦怠感 ⑧褥瘡・スキンテア	
	15	試験	
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 医学書院 3. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版		
参考文献	1. 老年看護学 概論と看護の実践 ヌーベルヒロカワ 2. 老年看護学 高齢者の看護の実践 ナーシング・グラフィカ		
成績評価の方法	筆記試験90% 授業態度・グループワーク参加態度・忘れ物・提出物の期限10%		

科目名	<b>老年看護学援助論 I (高齢者の生活を支える看護)</b>				
教育内容	専門分野 老年看護学	履修年次	2年次	履修時期	6月 ~7月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	看護師	実務経験	老年看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	高齢者の生活機能を整える看護の役割・援助を理解する。				
学習目標	老年期にある対象の生活上の問題を理解し、看護を実践するための知識を得る。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	1. 日常生活を支える基本的活動 ①基本動作と環境のアセスメント ②転倒のアセスメントと看護 ③廃用症候群のアセスメントと看護			講義
	2・3	2. 食事・食生活 ①高齢者における食生活の意義 ②高齢者に特徴的な変調 ③食生活のアセスメント ④食生活の支援			講義・演習
	4	3. 排泄 ①高齢者の排泄ケアの基本 ②排尿障害のアセスメントとケア ③排便障害のアセスメントとケア			講義
	5	4. 清潔 ①清潔の意義 ②高齢者に生じやすい清潔に関する健康問題 ③清潔のアセスメント ④清潔の援助			講義
	6	5. 生活リズム ①高齢者と生活リズム ②高齢者に特徴的な変調 ③生活リズムのアセスメント ④生活リズムを整える看護			講義
	7	6. コミュニケーション ①高齢者とのコミュニケーションとかわり方の原則 ②コミュニケーション能力のアセスメント ③高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーション方法 7. セクシャリティ ①高齢者におけるセクシャリティ ②高齢者ケアの場における性に関する問題 ③セクシャリティのアセスメントと看護			講義
	8	8. 社会参加 ①高齢化の現状と目ざす社会の方向性 ②地域における高齢者の社会参加			
	8	筆記試験			
使用教材	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院				
参考文献					
成績評価の方法	筆記試験 100点				

科目名		老年看護学援助論Ⅱ(疾病・障害をもつ高齢者の看護)			
教育内容	専門分野 老年看護学	履修年次	2年次	履修時期	5月～11月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 外部講師	実務経験	老年臨床実務経験あり		
科目目的	健康上の問題をもつ高齢者とその家族に対し、その人らしい生活を送るために必要な看護の役割・援助を理解する。				
学習目標	<b>単元Ⅰ</b> 1. 高齢者の特徴・疾病・障害をふまえ、健康逸脱からの回復期と終末期において高齢者とその家族を支える看護が展開できる。 <b>単元Ⅱ</b> 1. 認知機能の障害をもつ人や在宅高齢者に対する看護において、全人的理解ができる。 2. 生活・療養の場において、多職種と連携して、地域資源を活用した看護が展開できる。 3. 高齢者のリスクマネジメントでは、専門職として医療安全と災害看護を重視することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法		
	1	<b>単元Ⅰ:疾患をもち治療・検査が必要な高齢者の看護 担当:認定看護師</b>	講義		
	2	1. 検査と看護 2. 栄養ケア・マネジメント ・スプーンテクニックの演習	講義 演習		
	3	1. 薬物療法と看護 2. 放射線療法・化学療法と看護	講義		
	4	1. 手術療法と看護	講義		
	5	1. 疾患をもつ高齢者への看護 1) 脳卒中 2) 心不全 3) パーキンソン病・パーキンソン症候群	講義		
	6	4) インフルエンザ 5) 肺炎 6) 感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症) 7) 骨粗鬆症 8) 骨折 9) 褥瘡 10) 前立腺肥大症・前立腺がん	講義		
	7	1. エンドオブライフケア	講義		
授業計画	8	<b>単元Ⅱ:認知症看護・生活・療養の場における看護・家族看護・災害看護 担当:看護師</b> 6章 健康逸脱からの回復を支える看護 C. 認知機能障害のある高齢者の看護 ①うつ ②せん妄	講義 演習		
	9	③認知症 ・認知症とは * 演習「生活支援の理解」 ・認知症の症状・認知症の診断・治療と予防	講義 演習		
	10	・認知症機能および生活機能の評価 ・認知症の看護 ◎コミュニケーションの方法 * 演習「コミュニケーション技術の実際」 * DVD「一人の心を見つめるケア」	講義 演習		
	11	第9章 生活・療養の場における看護 A. 高齢者とヘルスプロモーション ・老年期のヘルスプロモーション・介護予防とヘルスプロモーション ・「住み慣れた場所で最期まで」を実現する地域包括ケア B. 保健医療福祉施設および居住施設における看護	講義		

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法
		①介護保険施設 ②地域密着型サービス③住まい	
授業計画	12	C.治療・介護を必要とする高齢者を含む家族への看護 ①家族の生活と健康 ②家族への援助 * 音読「手紙」 D多職種連携実践による活動	講義
	13	第10章 高齢者のリスクマネジメント A.高齢者と医療安全 P406 ゼミナル 演習「転倒予防のための援助」	講義 演習 グループ・ワーク
	14	B.高齢者と救命救急 C高齢者と災害 * 演習 『高齢者の避難生活で考慮しなければならないことは？』	講義 演習 グループ・ワーク
		試験	
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
参考文献	授業時に資料配布		
成績評価の方法	筆記試験と出席状況、授業態度、グループ・ワーク参加態度、忘れ物、提出物の期限		

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	<b>老年看護学援助論Ⅲ(老年看護の展開)</b>				
教育内容	専門分野 老年看護学	履修年次	2年次	履修時期	9月～12月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員	実務経験	老年看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	看護過程の特徴を学び、健康上の問題を持つ高齢者とその家族に対して、看護実践に必要な看護技術を習得する。				
学習目標	1. 老年看護技術の特徴を理解する。 2. 老年看護に応用する看護技術の知識を理解する。 3. 老年看護過程と特徴を理解する。 4. 加齢による生活障害に関連して必要となる主要な看護技術を学び、高齢者や家族に対する実際の看護援助の方法を学ぶ。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	I. ガイダンス			講義 講義 演習 講義
	2	II. タクティールケア			
	3	II. 老年期の看護過程 1. 老年期の看護過程の基本的な考え方 2. 看護過程の展開			
	4	III. 介護者・家族への対応技術			
	5	IV. 看護過程事例に沿った演習計画の立案(高齢者と家族への看護) IV. 演習計画立案グループ成果発表			グループ・ワーク グループ・ワーク発表
	6	IV. 立案した看護計画に基づいたロールプレイグループワーク看護技術演習課題への取り組み * 演習技術項目 ・コミュニケーション ・食事(嚥下障害のある) ・排泄 ・活動、転倒 ・家族への看護 ・社会資源の活用			グループ・ワーク
	7	IV. 立案した演習計画に基づいたロールプレイグループワーク看護技術演習取り組みの成果発表 * 各グループで、演習計画の1場面を取り上げ、ロールプレイを実施する。			グループ・ワーク発表
	8	試験			
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 医学書院				
参考文献	1. 老年看護学 概論と看護の実践 ニューヴェルヒロカワ 2. 老年看護学 高齢者看護の実践 ナーシング・グラフィカ⑦				
成績評価の方法	筆記試験90% 授業態度、グループ・ワーク参加態度、忘れ物、提出物の期限 10%				